

社会福祉法人 市川町社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

法人運営事業

法人運営事業

評議員会、理事会の開催

評議員会、理事会を開催しました。

評議員会の開催 2回開催

6月29日

- ・令和元年度市川町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計決算について
- ・理事の選任について

3月30日

- ・令和2年度市川町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- ・令和3年度市川町社会福祉協議会事業計画(案)並びに一般会計予算(案)について

理事会の開催 2回開催

6月15日

- ・令和元年度市川町社会福祉協議会事業報告並びに一般会計決算について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・理事の選任に係る評議員会への推薦について
- ・評議員会の日時、場所及び議案について

3月22日

- ・令和2年度市川町社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- ・令和3年度市川町社会福祉協議会事業計画(案)並びに一般会計予算(案)について
- ・役員等賠償責任保険契約について

評議員選任・解任委員会の開催

理事会から推薦された評議員候補者について、評議員選任・解任委員会で審議、選任いたしました。

1回開催

6月23日

社協会費の納入

社協の貴重な自主財源である社協会費の納入を町民の皆さんに依頼しました。会費の使途を広く周知することで、皆さん一人一人に社協活動に関心を深めていただき、財政面から会費という形で社協活動にご参加いただきました。

- ・社協会費（10月）1,749,000円

各福祉団体の事務（老人クラブ、身体障害者福祉会、婦人共励会、手をつなぐ育成会）

各種福祉団体の事務を行いました。コロナ禍により、会員多数が集まる行事は中止となりましたが、感染対策を徹底した会合や屋外行事、リモートによる研修会等、福祉の充実に向けて取り組みました。



リモート研修の様子

ホームページでの広報

行事案内や募集記事、活動の報告等を掲載し、社協活動に関する情報を発信し、町民の皆さんに活動への理解と参加を促しました。



ホームページ

地域福祉推進計画の評価と策定

地域福祉推進計画とは、地域の生活福祉課題を住民主体の立場から課題解決をめざすための長期計画です。本会では、令和2年度からの5カ年計画のもと、福祉活動に取り組みました。

社会福祉充実財産の再投下

社会福祉充実計画に基づいて、社会福祉充実財産を再投下しました。

- ・介護職員の処遇の改善
- ・災害発生時対応できる備品の購入（放送用機器）
- ・福祉サービス利用に係る利用者負担金の減

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業

共同募金運動の推進

赤い羽根共同募金運動（10月～12月）、歳末たすけあい募金運動（12月）を各区長様のご協力のもと推進し、募金の使途を広く周知することで運動の理解を促しました。

- ・赤い羽根共同募金 1,962,869 円
- ・歳末たすけあい募金 1,942,833 円

福祉活動への助成

募金による配分金で、サロン活動、福祉団体の活動、ボランティア活動、学校の福祉学習活動を支援し、財政面からサポートしました。

- ・ふれあいサロンへの活動助成 28 区 38 会場
- ・福祉団体への活動助成 5 団体
- ・ボランティアグループへの活動助成 12 団体
- ・学校での福祉学習への活動助成 7 校



ふれあいサロン



老人クラブ男性料理教室



学校での福祉学習



市川中学校



鶴居中学校

ふれあいサロン助成金給付会場数

No.	区名	会場数	No.	区名	会場数	No.	区名	会場数
1	西川辺	2	11	上瀬加	1	21	県住	1
2	川辺新町	1	12	下牛尾	3	22	澤	1
3	浅野	1	13	上牛尾	4	23	美佐	2
4	小畑	4	14	甘地	1	24	鶴居	1
5	東川辺	1	15	近平	1	25	神崎	1
6	西田中	1	16	小谷	1	26	田中	1
7	北田中	1	17	千原	1	27	小室	1
8	上田中	1	18	谷	1	28	屋形	1
9	保喜	1	19	奥	1		合計	38
10	下瀬加	1	20	坂戸	1			

社協広報誌等の発行

社協広報誌等を発行し、全戸配布しました。

- ・市川町広報に情報提供 毎月1回
- ・「福祉いちかわ」の発行と配布 年6回
- ・高齢者番付表の発行と配布 9月に発行



福祉いちかわ

歳末見舞金配布

在宅の重度身体障害者（1・2級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に、民生委員さんを通じて、歳末見舞金を配布しました。なお、コロナ禍により対象者の方や民生委員さんの感染防止に配慮して、配布時期を延期し、2月に配布させていただきました。

- ・対象者 308名 1,509,000円

配布区分	人数
生活保護者	27
重度身体障害者	187
知的障害者	24
準要保護生徒・児童	67
介護用品支給事業対象者	3
合 計	308

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業

善意銀行の事務

町民の皆さんからの善意の預託を受け付けました。また、預託いただいた金品を活用し、町の福祉向上をすすめました。

- ・善意の預託 のべ10件 91,262円

善意の日募金運動の推進

兵庫県では、6月1日を「善意の日」と定め、福祉活動が展開されており、市川町社協においても各区長さんにご協力いただき善意の日募金を推進しました。また、募金の使途を広く周知することで運動への理解を促しました。

- ・善意の日募金 1,037,300円

ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター運営事業

ボランティア人材の発掘

ボランティア活動を広報し、人材の募集、発掘を行いました。

学校での福祉学習の推進

学校での福祉学習について、講師の紹介や職員の派遣、物品の貸出等の支援を行いました。

福祉学習への支援

支援内容	回数	内訳
講師紹介	3	手話体験 3
職員派遣	8	車いす体験 5 アイマスク体験 2 高齢者体験 1
学校への備品貸出	7	車いす 6 体験用装具 1



町内各学校での福祉学習



災害時に関する取り組み

- ・防災と福祉の連携促進による個別支援計画の作成

災害時に自力での避難が困難な方の個別避難計画を地域の方、行政、福祉専門職（社協）が連携し、作成しました。

- ・奥区にて住民説明会 1回
- ・個別避難計画の作成 3件

奥区での住民説明会



ボランティア連絡協議会の事務

町内のボランティアグループ間の交流を図り、さらに有意義な活動をしていただけるよう支援しました。

- ・代表者会議の開催 2回

- ・フードドライブへの協力 2日間

フードバンクはりま及び市川町が実施する食糧寄付の呼びかけと受付。

78名の方々から約700kgの食料と日用品を受け付けました。

- ・ボランティア共済、県民ボランタリー活動助成の事務手続き

ボランティア連絡協議会登録グループ

No.	グループ名	活動内容
1	手話サークルやまびこ	手話通訳、聴覚障害者支援、啓発活動
2	あじさい	給食サービスにおける調理
3	とき	福祉施設での作業手伝い
4	リズムダンス・スイートピー	ふれあいサロン、福祉施設でのダンス指導
5	どんぐり	福祉施設でのお手伝い
6	みち	独居高齢者宅、福祉施設への訪問
7	市川町ゲートボール協会	福祉施設でのゲートボール指導、給食配達
8	コスモス	ふれあいサロン、福祉施設でのお手伝い
9	やまあじさい	保育園、小学校での本の読み聞かせ
10	えんどう豆	保育園、福祉施設での銭太鼓等の披露
11	ふくろう	給食サービスにおける弁当の配達
12	J A女性会ジャズ体操教室	福祉施設への訪問、踊りの披露



フードドライブ



ボランティアグループによる手話教室

地域福祉事業

心配ごと相談所事業

毎月第2、第4金曜日に午後1時～3時に市川町役場前の就業改善センターで様々な心配ごとを受け付ける相談所を開設し、町内の民生委員さん、人権擁護委員さん、行政相談員さん、社会教育委員さんに相談員としてご協力いただきました。9月に総合相談を行政との共催で開催し、その際には弁護士さんへの相談も受け付けました。



心配ごと相談

- ・心配ごと相談 第2、第4金曜日に開催
4、5、12月および11/27、1/8はコロナ禍のため休止
14回開催（うち1回は総合相談に参加）

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金とは、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯などで一時的に生活に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部の貸付を行う制度です。社協では貸付窓口を開設し、行政やワーカーズコープ（労働者協同組合）と連携をとりながら相談支援を行いました。

また、令和2年3月より窓口業務を開始した新型コロナウイルス特例貸付は、現在（令和3年6月）にいたるまで相談支援および申請受付を行っております。

まず、初回貸付（緊急小口資金）で緊急かつ一時的な支援を行い、その後継続的な支援が必要であると判断される方には、総合支援資金にて最長9カ月間の支援を行います。

令和2年度実績

	貸付回数	のべ相談回数
通常貸付	0	205
コロナ初回貸付	49	
コロナ継続貸付	42	

母子金庫運営事業

母子世帯の生活の安定と社会参加を図ることを目的とした資金貸付窓口を開設いたしました。

準保護支援事業

夏季見舞金配布

在宅の重度身体障害者（１・２級）、知的障害者（在宅の手をつなぐ育成会員）、生活保護世帯、準要保護児童・生徒等の方を対象に民生委員さんを通じて夏季見舞金を配布しました。

・対象者 305 人 981,000 円

夏季見舞金配布内訳

配布区分	人数
生活保護者	25
重度身体障害者	186
知的障害者	26
準要保護生徒・児童	65
介護用品支給事業対象者	3
合 計	305

食料支援

フードバンクはりまの協力のもと、支援を必要とする世帯に１～２週間分の食料を届けました。

・２世帯 ３回

生活保護受給予定者への一時支援資金貸付

市川町内の生活保護申請中の世帯で、食費や光熱水費など最低限必要な生活資金の融資を他から受けることが困難な世帯に対し、受給までの間、資金の貸付を行いました。

・１件

善意の福祉機器貸出事業

介助が必要な方に福祉機器（車いす、介護用ベッド）を無料で貸し出しました。ただし、介護保険の福祉用具レンタルの制度が利用できる方（介護度２・３・４・５の方）は介護保険を優先して利用していただいております。

また、ひとり暮らしに不安のある高齢者を対象とした緊急信号発信装置の貸出について、申請を受け付けました。装置のボタンを押すと、あらかじめ登録された複数の電話（身内の方や、ご近所の方）に緊急信号が発信されます。貸出は無料ですが、屋内の配線を行う場合やリモコンなどを利用される場合は、５,０００円～１５,０００円程度の実費負担となります。

福祉機器の貸出状況

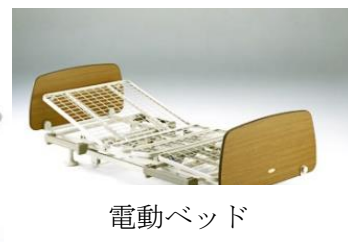
機器	長期	短期
車いす	15	67
歩行器	2	1
電動ベッド	6	0
松葉杖	2	0
安心コール	0	0



車いす



安心コール本体



電動ベッド

福祉車両貸出事業

介助が必要な方に車いす対応型福祉車両を無料で貸し出しました。令和 2 年度は、神戸やまぶき財団の支援のもと、新しい車両を導入し、安全性と利便性の向上を図りました。

対象者 車いすを使用しなければ外出が困難な市川町在住の方

車両の種類 車いす対応福祉車両（軽自動車）

利用料金 無料（走行距離に応じてガソリンを補給）

・貸出回数 96 回 実利用者数 24 名

福祉車両



福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある方が地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用に関する手続きや苦情の申し立て、公共料金の支払い等の日常的な金銭管理について相談支援を行いました。

・契約件数 2 件 のべ活動回数 52 回

給食サービス



給食サービス運営事業

ひとり暮らし、高齢者のみの世帯で自炊が難しい方に、安否の確認の意味もこめて月に 3 回お弁当（1 食 300 円）を配達しました。調理はボランティアさんに、配達には民生委員さん、ボランティアさんにご協力いただき、味や栄養、衛生面を考えた事業運営に努めました。また、令和 2 年度は、消毒や検温等を徹底し、新型コロナウイルス感染症の予防にも取り組みました。

・ 9 回実施

（7～9 月は食中毒予防のため、4～6、12～2 月はコロナ禍のため休止）

・ 634 食（うち生活保護世帯 28 食）

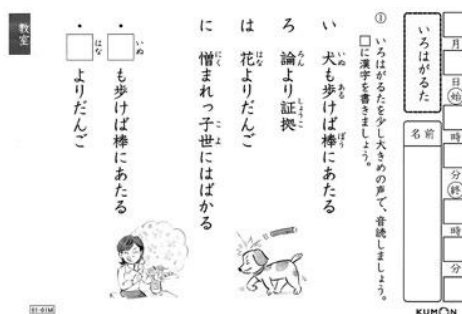
給食配布のべ個数

区名	個数	区名	個数	区名	個数	区名	個数
西川辺	17	下瀬加 1	3	甘地	20	澤	18
西川辺南	0	下瀬加 2	18	甘地南	9	美佐 1	27
西川辺東	27	上瀬加 1	0	近平	0	美佐 2	0
浅野	38	上瀬加 2	45	小谷	0	鶴居	45
小畑	48	下牛尾 1	61	千原	9	神崎	39
東川辺	41	下牛尾 2	27	谷	0	田中	7
西田中	36	上牛尾 1	18	奥	6	小室	0
北田中	21	上牛尾 2	9	坂戸	0	屋形	18
上田中	27						
保喜	0						
合計	225	合計	181	合計	44	合計	154
合計	634						

介護予防事業

認知症予防に効果のある学習療法の教室を毎週火曜日に開催し、学習の習慣化を図りました。毎週の集まりが仲間づくりや交流の場となっております。令和2年度はコロナ緊急事態宣言の影響で休止が相次ぎました。開催中の期間についても、消毒の実施やアクリル板の設置等、感染防止対策に取り組みました。

- ・開催回数 22回（7～11月、3月に開催。4～6月、12～2月は休止。）
- ・のべ受講者数 199名 実受講者数 11名 サポーター数 7名



大人の楽習塾

町受託事業

福祉タクシー事業

身体障害者手帳1・2級、および療育手帳A判定の方に福祉タクシー券（初乗り券）を発行しました。事業の契約を結んでいる近隣のタクシー会社で利用でき、1人あたり年間最大48枚の利用ができます。

- ・実利用者数 20名 361枚の利用

家族介護用品支給事業

住民税非課税世帯の介護度4・5の高齢者の方に介護用品を支給しました。

- ・実利用者数 4名

寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

住民税非課税世帯の介護度4・5の高齢者の方を対象とした寝具の洗濯を実施しました。

- ・実利用者数 1名

外出支援サービス事業

高齢者のみの世帯や、独居の身体障害者1・2級で、公共交通機関の利用が困難な方を福祉車両で自宅から病院まで送迎しました。利用料は町内の往復500円、神河町、福崎町への往復600円です。令和2年度は、利用者の乗車時に検温と消毒を実施し、感染予防に努めました。

- ・実利用者数 63名
- ・のべ利用回数 1314回送迎（うち生活保護世帯192回）
 - 町内への送迎 550回（うち生活保護世帯95回）
 - 町外への送迎 764回（うち生活保護世帯97回）

地区ごとの利用者数

地区名	利用者数
川辺	16
瀬加	6
甘地	17
鶴居	24
合計	63



送迎用車両

身障訪問入浴事業

自宅の浴槽での入浴が困難な身体障害者の方を対象に、訪問入浴車での入浴サービスを行いました。

- ・実利用者数 2名
- ・のべ訪問回数 144回



訪問入浴車

地域支え合い推進事業

介護保険制度だけでは対処できない様々な暮らしの課題について、地域で自発的に取り組んでいただける体制づくりを支援しました。具体的には、ふれあいサロンへの訪問や用具貸出、連絡調整を行っておりますが、令和2年度は、コロナ禍によりサロン活動が実施困難な期間が続きました。各区の世話人の方々から、サロン運営についての相談に応じ、感染予防の徹底やサロン以外の地域福祉活動の紹介や啓発を行いました。

サロン活動への支援

町内各区で行われているサロン活動を支援しました。職員の派遣や、用具の貸出などを行いました。

- ・職員の派遣 8回
- ・レクリエーション用具の貸出 8回



ふれあいサロン各会場の様子

令和2年度ふれあいサロン 実施回数とのおべ参加人数

区名	回数	人数	区名	回数	人数	区名	回数	人数	区名	回数	人数
西川辺	0	0	下瀬加	2	61	甘地	3	48	澤	9	190
西川辺南	9	146	上瀬加	1	48	近平	9	135	美佐東	5	70
川辺新町	4	38	下岡	1	16	小谷	4	116	美佐西	1	8
浅野	2	54	市場	7	84	千原	7	135	鶴居	3	66
西小畑	9	51	河内	2	35	谷	4	95	神崎	2	64
東小畑	5	41	岩戸	7	117	奥	4	112	田中	1	10
南小畑	3	45	半瀬	5	93	坂戸	5	116	小室	1	32
小畑御舟	4	54	塩谷	16	64	県住	7	60	屋形	3	100
東川辺	1	17	寺家	1	11						
西田中	1	18									
北田中	2	37									
上田中	5	125									
保喜	10	28									
地区合計	14	654	地区合計	42	529	地区合計	43	817	地区合計	25	540
									総合計	156	2540

介護保険等事業

居宅介護支援事業

介護保険サービスを利用するための計画（ケアプラン）を作成しました。利用者の思いを聞きながら、その人の身体状況や周囲の環境に合わせた最適な計画を作成し、サービスを円滑に利用できるよう関係機関との連絡調整を行いました。また、近隣の方々にもご協力いただき、地域ぐるみの支援を行いました。

また、令和2年度、介護保険事業はコロナ禍により、様々な課題に直面しました。利用者の発熱への対応、濃厚接触が疑われるスタッフの自宅待機、マスクや消毒液の不足等、困難な状況にも関わらず、訪問介護へのニーズは減少することはありませんでした。本事業では、介護現場での感染対策を徹底するとともに、コロナ禍でのスムーズな事業運営に努めました。

- ・のべ計画作成数 610 件

訪問介護事業

要支援・要介護の高齢者の方が、可能な限り自立した生活を送ることができるよう、訪問介護員が家庭を訪問して、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行いました。

- ・のべ訪問回数 5,921 回

訪問入浴介護事業

自宅での入浴が困難な要介護の高齢者を対象に、訪問入浴車での入浴サービスを行いました。具体的には、自宅のベッドのそばに浴槽を運び、車内のボイラーで温めたお湯を使って入浴介護を行いました。

- ・のべ訪問回数 519 回

障害者福祉サービス事業

障害者相談支援事業

障害（身体・知的・精神）のある方の、仕事や生活、将来等様々な相談に応じ、その上でご本人の心身の状況、周囲の環境等に合わせて、福祉サービス利用計画を作成しました。また、サービスを円滑に利用できるように、関係機関との連絡調整を行い、利用者のニーズをこまめに聴き取りました。

障害者福祉サービス事業につきましても、介護保険同様にコロナ禍により様々な課題に直面しました。本事業でも感染対策を徹底するとともに、コロナ禍でのスムーズな事業運営に努めました。

- ・ のべ計画作成数 74 件

障害者訪問介護事業

介護が必要な障害（身体・知的・精神）のある方の生活を支えるため、訪問介護員が家庭を訪問し、食事介助、排泄介助、入浴介助、更衣介助、整容、身体的清拭等の身体介護と、掃除、ゴミ出し、洗濯、買い物等の生活援助を行いました。

- ・ のべ訪問回数 1,014 回

